



LA Phil

GUSTAVO DUDAMEL
MUSIC & ARTISTIC DIRECTOR

TOKYO 2025

FRIDAY OCTOBER 24
SATURDAY OCTOBER 25

©Danny Clinch for LA Phil



時代を超える前衛！
アダムズ&ストラヴィンスキー迫り来るリズム

2025
10.24 [金]
18:30開場／19:00開演
サントリーホール
Friday October 24, 2025, 7p.m. at Suntory Hall

J.アダムズ: Frenzy (狂乱) 日本初演
John Adams: Frenzy, Japan premiere

ストラヴィンスキー: バレエ組曲「火の鳥」 (1919年版)
Stravinsky: The Firebird Suite (1919 version)

ストラヴィンスキー: バレエ音楽「春の祭典」
Stravinsky: The Rite of Spring

入場料: S¥45,000 A¥40,000 B¥**SOLD OUT**
C¥**SOLD OUT** D¥**SOLD OUT** (全席指定・税込)



ジョン・アダムズ
John Adams

現代アメリカを代表する作曲家。ロスフィルとの出会いは70年代に遡り、ロスフィルによって初演・録音された作品も多い。2009年ロスフィルのクリエイティブ・チェアに就任。『Frenzy』はロンドン響、ロスフィル、トロント響等の委嘱により23年3月に初演。「息を呑むような興奮の渦」(デイリー・テレグラフ)、「勢いを失うことなく一貫した想念を展開し続けるアダムズの手腕に引き込まれてしまう」(フィナンシャル・タイムズ)と絶賛された。

グスターボ・ドゥダメル (音楽・芸術監督／指揮)
Gustavo Dudamel, Music & Artistic Director / Conductor

グスターボ・ドゥダメルは、音楽を通じてより良い世界を創造することに力を注いでいる。人生を鼓舞し、変革する芸術の力に対する揺るぎない信念に導かれ、ドゥダメルは世界中の恵まれない地域の人々への教育活動や、クラシック音楽の影響力を新たな、そしてより多くの聴衆に広げるために、たゆまぬ努力を続けてきた。ベネズエラでのつましい幼少期を経て、芸術的・社会的に比類なき業績を築いた彼の物語は、文化が個人の人生に意味をもたらし、世界全体に大きな調和をもたらすという生きた証となっている。現在、ロサンゼルス・フィルハーモニックとベネズエラのシモン・ボリバル交響楽団の音楽・芸術監督を務め、2026年にはニューヨーク・フィルハーモニックの音楽・芸術監督に就任し、グスタフ・マーラー、アルトゥーロ・トスカニーニ、レナード・バーンスタインらのレガシーを引き継いでゆく事が決定している。

若くして世界のトップ指揮者の仲間入りを果たしたドゥダメルの青春が終わろうとしている。弱冠28歳にしてアメリカ屈指の名門、ロサンゼルス・フィルハーモニックの音楽・芸術監督に迎えられるや、クラシック音楽界に新たな聴衆を呼び込み、音楽が社会をも変えていくという信念を、17年に及ぶ共同作業で体現し黄金期を築いた。その任期最後の演奏旅行先を選んだのが、アジアであり、日本の東京である。ドゥダメルは、しばしばコネクティング(つながる)という言葉を使う。楽譜を通して作曲家とつながり、奏者一人一人とつながりオーケストラとなる。奏でる音楽は聴衆一人一人とつながり、そして社会へとつながる。つながり＝絆の連鎖が社会を変えてゆく。

© Danny Clinch for LA Phil

© Danny Clinch for LA Phil

いま私たちは、ドゥダメルとロスフィルが夢見たオーケストラと

社会の関わりのあるべき姿を目の当たりにするのだ。

ドゥダメルにとって、まさに青春時代と言えるロスフィルとの17年間。
私たちは、その集大成を見届ける証人になる。



© Timothy Norris courtesy of the LA Phil

ロサンゼルス・フィルハーモニック
Los Angeles Philharmonic

グスターボ・ドゥダメルの活力あふれるリーダーシップのもと、その多彩な取り組みを通じて、感動的な音楽を提供し、世界屈指のオーケストラとしてその名を知られている。特にその芸術性とビジョンを反映した革新的で多様なプログラミングは、世界をリードする存在としてロスフィルに特別な地位を与えている。2009年、クレンペラー、メータ、ジュリーニ、プレヴィン、サロネンらが歴任した音楽監督に弱冠28歳のドゥダメルが就任。以来エル・システマに触発されたYOLA(ロサンゼルス・ユース・オーケストラ)の設立、創立100周年を記念した50以上もの新作委嘱、若手音楽家支援のためのフェロシップ・プログラムなどオーケストラの可能性を再定義する数々の試みを行っている。2025/26シーズンはドゥダメルの音楽・芸術監督としての最後のシーズンとなる。

チェン・レイス (ソプラノ)
Chen Reiss, Soprano

「銀のような光沢と透明感に満ちた声」(バットハック)、「魅惑的な響き」(オペラ・ニュース)と評される現代を代表するソプラノ。ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、英国ロイヤル・オペラ等に出演。コンサートでもイスラエル・フィル、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ミュンヘン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管等とメータ、エッセンバッハ、ビシュコフ、ラトル、ベトレンコらの指揮で共演している。



© Paul Marc Mitchell

ベス・テイラー (メゾ・ソプラノ)
Beth Taylor, Mezzo Soprano

「暗く濃密な声」、「驚異的なコロラトゥーラ」(ガーディアン紙)と評され、ベルリン・フィルとバーデン・バーデン・イースター音楽祭に出演するなど現在最も注目を集めるメゾ・ソプラノ。これまでにテューリッヒ歌劇場、フランクフルト歌劇場、リヨン国立オペラ等に出演。またレ・ザール・フロリサン、モントリオール響、ロイヤル・ストックホルム・フィル等と共演し、ガーディナー、メツマッハー、トリックスらの指揮で歌っている。



「汝、復活の時は来たり！」
ドゥダメル&ロスフィル惜別の最終章

2025
10.25 [土]
13:30開場／14:00開演
サントリーホール
Saturday October 25, 2025, 2p.m. at Suntory Hall

マーラー: 交響曲第2番 ハ短調
「復活」

Mahler: Symphony No. 2 in C Minor, "Resurrection"

ソプラノ: チェン・レイス Chen Reiss, Soprano
メゾ・ソプラノ: ベス・テイラー Beth Taylor, Mezzo Soprano
合唱: 新国立劇場合唱団 New National Theatre Chorus

入場料: S¥47,000 A¥**SOLD OUT** B¥**SOLD OUT**
C¥**SOLD OUT** D¥**SOLD OUT** (全席指定・税込)

本公演は2階Pブロック中央に合唱団が入ります。予めご了承ください。

新国立劇場合唱団 (合唱)
New National Theatre Chorus

新国立劇場は現代舞台芸術のためのわが国唯一の国立劇場として1997年10月に開場。新国立劇場合唱団も数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を開始。劇場外においても国内外のオーケストラとの数多く共演を果たしている。



ドゥダメルとロスフィル 17年間の歩み

2009年

ドゥダメル音楽監督に就任。初仕事はハリウッドボウルでのオール・ジャンルの無料公演。全ての人に開かれたコンサートとなった。

2009-2010年

就任後初のシーズンはYOLAを通して地域社会へのコミットメント、ジャズや現代音楽のクリエイティブ・パートナーの創設など、音楽を通じてより良い世界の創造に貢献するというロスフィル新時代の指針を示す一年に。



2010年

アメリカ・アメリカン・フェスティバルを開催。北米・南米をひとつのアメリカ文化として捉える新たなビジョンを提示。

2012年

ロスフィルとシモン・ボリバル響によりマーラーの交響曲全曲を演奏するマーラー・プロジェクトを開催。

2012-2014年

ダ・ポンテ三部作をセミ・ステージ形式で上演するモーツァルト／ダ・ポンテ・プロジェクトを開催。フランク・ゲーリー、ジャン・ヌーヴェル、ザハ・ハディッドら現代を代表する建築家が美術を担当するなど大きな話題を呼んだ。

2016年

ドゥダメルとYOLAがスーパーボウルのハーフタイム・ショーに出演。コールド・プレイ、ピヨンセラと共演した。



2018年

ロス・フィル100周年記念プロジェクト第1弾としてCelebrateLA!を開催。市内で数々のイベントを行い、1984年のオリンピック以来ロサンゼルスで最大のアートイベントとなった。



© Craig T. Mathew and Greg Gruet / Mathew Imaging



2019年

アカデミー賞授賞式に初出演。ロスフィルと映画界との歴史的な繋がりを全世界に向けて発信した。

2019年

サロネン、メータ、ドゥダメルと歴代音楽監督が集結し、100周年記念コンサートを開催。3名の指揮者が同時に指揮を行うダニエル・ビヤソンの新作も話題に。

2019年

ドゥダメルがハリウッド・ウォーク・オブ・フェームの星を授与される。



2019-2022年

ドゥダメル、ロスフィル、YOLAがメキシコ・シティを訪問。人口の約半数をヒスパニックが占めるロサンゼルスとラテンアメリカとの文化的繋がりを称えるツアーとなった。

2021年

YOLAの本拠地、ベックマンYOLAセンターがオープン。フランク・ゲーリー設計による建物も話題に。

2022年

5年に亘って南北アメリカ大陸のアーティストを紹介するパン・アメリカン・ミュージック・イニシアティブがスタート。

2024年

聴覚障害者によるデフ・ウェスト・シアターとの共同制作でベートーヴェン「フィデルリオ」を世界各地で上演。聴覚障害者と健聴者双方の観客に向けた舞台として話題を呼ぶ。

2025年9月

ドゥダメルとロスフィルの17年にわたる軌跡を総括するシーズンがスタート。

チケットお申込み

- サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 <https://suntory.jp/HALL/>
- イープラス <https://eplus.jp/> 〈PC & 携帯〉
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> 〈PC & 携帯〉 (Pコード: 296-498)
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> 〈PC & 携帯〉 (Lコード: 35534)

主催・お問合せ: AMATI Tel.03-3560-3010 <https://www.amati-tokyo.com/> 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-5-S103

協力: ユニバーサル ミュージック 後援: アメリカ大使館

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。

①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③演奏中は入場できません。④未就学児の入場はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

映画音楽の巨匠、ジョン・ウィリアムズの名曲を一挙に。—代表作を網羅した決定盤2枚組—

ジョン・ウィリアムズ・セレブレーション グスターボ・ドゥダメル ロサンゼルス・フィルハーモニック

SHM-CD UCCS-50277/8 定価: ¥2,420 (税込)

収録曲: 『ジョーズ』

『スター・ウォーズ エピソード5/帝国の逆襲』

『ハリー・ポッターと賢者の石』

『ジュラシック・パーク』 他

録音: 2019年1月 ロサンゼルス・ウォルト・ディズニー・コンサート・ホール

発売元: ユニバーサル ミュージック合同会社

